

Network Display Adaptor
採用事例コニカミノルタエムジー株式会社 様
画像診断ワークステーションの外部接続機として
NetWork Display Adaptorが採用

Network Display Adaptor『SX-ND2000F-KM』を画像診断ワークステーションと組み合わせることで、撮影室に設置したモニタから、操作室にあるワークステーションを自在に操作できるようにし、X線撮影の際の撮影室と操作室との出入りを必要最低限に減らす理想的な撮影ワークフローを実現。

採用先プロフィール

採用先: コニカミノルタエムジー株式会社 様
採用製品: 画像診断ワークステーション
採用目的: 画像診断ワークステーションのネットワーク対応
発売時期: 2011年4月
販売台数目標: 初年度1,000台



Network Display Adaptor 採用前の課題



課題

●レントゲンの撮影部位、画像サイズなどの細かい撮影条件の変更は、操作室にあるコンソールでしか操作できないため、レントゲン技師は、撮影室と操作室を行き来しなければならず、作業の手間がかかっていた。

Network Display Adaptor 採用後のメリット



メリット

●撮影室内のモニタから、操作室のワークステーションを遠隔操作できるため、患者の状態に応じて、撮影室内から容易に撮影条件の変更が可能。
●操作室のコンソール画面で行われる撮影した画像の確認作業を、撮影室内のモニタでも行う事が出来、正確かつ迅速に再撮影の要否判断が可能。
●患者氏名、患者IDや撮影部位等の情報を、撮影室内に設置したモニタに大きな文字で表示することで、患者・検査情報の視認性が向上。患者本人と撮影する技師の双方で表示内容を確認でき、安心して検診が受けられる。

採用理由

- 既にプライベートモデルがあり、専用モデルの製品化が容易にできること。
- カスタマイズの要望に応えることができる技術対応力。
- 小ロットでも対応可能。

製品紹介

Network Display Adaptor
SX-ND2000F-KM
(コニカミノルタエムジー株式会社
専用モデル)

10BASE-T/100BASE-TX(自動認識)



<カスタマイズ内容>
接続用ソフトウェアのSDKをシステムに組み込み